

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2025.3.31

法人名	八戸医療生活協同組合	代表者	中道 博章	法人・事業所の特徴	・当法人は地域の人々と共に、医療機関・福祉施設との連携を深め、安心して住み続けられる街づくりを目指します。 ・当事業所は介護福祉士、看護職を多く配置することで専門職の知識を生かしたケアを提供し「安全・安心・楽しく」を目指しています。
事業所名	生協小規模多機能多機能みなみるいけの家	管理者	大坂 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	2 人	人	人	2 人	2 人	1 人	人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所としての目標を明確にし、個々が自分の役割を自覚し、密な情報共有や、個別ケアの向上を目指します。	本人のスキルアップと事業所としてのケアの向上のため、法人内研修・オンライン研修を受講し、認知症ケアの向上ができました。	事業所全職員で事業所自己評価に取り組まれている様子がわかる。経験年数が少ない職員でもケアの実践に自信が持てるためにも見える化したアセスメントシート（生活歴も含めた）の活用も検討してみてはどうか。	ご意見でもいただいた、利用者様の生活歴も含めたアセスメントシートを活用し、ケアの幅が広がるよう実践していきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	屋内の環境整理と共に植え付け～収穫～おやつ作り（作る・食べる楽しみ）まで楽しめる方が多く、敷地内畑の拡大を検討します。	ボランティアの方の協力をいただき畑の拡大ができ、プランターと合わせ、植え付け～水やり～子供たちにも参加してもらいながらの収穫もできました。おやつ作りでも利用者様にも腕前をはっきりして頂き、賑やかな時間が持てました。 感染予防対策として定時での換気を継続しています。	事業所内の見学も実践でき、必要な掲示や環境的な問題もなかった。	感染予防対策は継続していきます。利用者様の安全を一番に環境整理や物品の確認・メンテナンスをしていきます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の集まりへの参加や合同での防災訓練を実施していきます。地域と触れ合う機会を年 3 回程度は企画していきます。	地域や近隣事業所に声掛けし認知症カフェ「かいごのかけはし」を年 3 回開催できました。回により利用者様・スタッフが交代で参加し、地域と交流できました。	地域に認知してもらうためには継続的な活動が重要だと思う。継続した活動に期待したい。	「かいごのかけはし」を継続し、地域との交流の場として認知いただけるよう取り組みます。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	利用者様の暮らす高齢者支援センターとも情報を共有し、その地域のボランティアや活動を知り、その中から協働で取り組めるものは取り組んでいます。	独居や認知症の方などを中心に家族の了解をいただいたうえで周囲に事業所として挨拶し、必要時連絡いただけるよう声掛けしています。	地域でも少しずつ活動が再開してきているが、個人情報の取り扱いで、具体化できないことも多いのが現状。	法人での地域活動(支部・班活動)等に参加しながら、地域の実態の把握と地域と協働で取り組める支援について実践していきます。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	ご家族様も参加していただき、ご意見をいただきながら運営していきます。	ご家族にも参加いただける機会があり、多機能ならではの利用が安心感につながっていることをお聞きすることができました。	多機能型サービスの認知度はまだ十分でない現状があり、運営推進会議を活用してみてもどうか(利用者確保と安定的な経営の為に)	運営推進会議に地域や居宅介護支援事業所も招き、地域で支える仕組みについて、意見交換しながら、安定的な経営につなげていきます。
F. 事業所の 防災・災害対策	BCPの見直し、感染・災害での稼働状況・避難場所を見える化する。机上訓練の実施や非常時の状況をご家族もイメージしやすく整理していきます。	感染・災害での稼働状況、避難場所など書面とし、契約時に伝え、同意いただいています。 また「かいごのかけはし」で防災への備えとして物品の紹介や試食を実践しました。 社会福祉協議会主催の地域の防災訓練に参加しました。	BCPの机上訓練などは高齢者支援センターも参加できるため活用してもらい、一緒に取り組んでいければ良いと思う。	引き続き、定期的な避難訓練の実施や地域の防災訓練に参加したり、BCPの見直しをしながら、万一来臨に備えていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6.9.23
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	大坂・東野・坂本・後藤・吉田・鈴木・出町・中山・岡堀・大澤・松橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	4人	0人	14人

前回の改善計画	引き続き利用者の情報共有の為のミーティングを実施していく。特に注意点については日勤帯以外にも共有の時間を設ける。（ケアマネ・主任・担当者）が実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的な昼のミーティングは実施されていないが、職場会議でも変化のある方の情報共有や意見交換はされ、共有に生かされている。変則勤務の中でタイムリーに申し送りノート全体を見ることは限界もあり、申し送りが必要な案件に関しては付箋に日付を書き1週間わかりやすくする。又、朝の申し送り時“申し送り参照”とはせず口頭で伝える（記載内容を読む）ようにし、共有して支援に生かす。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	7	6	1	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5	9	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	8	6	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	7	7	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規利用者様について事前のミーティングやカルテ、サマリーの確認で状態を把握することが出来ている。 ・職場会議を通して利用者の情報共有が出来ている。会議に出席できていない方へは申し送りや、議事録を通しての情報共有が行われている。 ・安心して過ごせるように席の配慮をしている。 ・本人の情報やニーズについて利用開始前にケアマネより情報を受け取れているし、勤務時間帯に共有の時間を設けて不安なことは質問出来ている環境がある。 ・ご本人様が慣れていない時など通いから訪問へ移行するなど対応している。 ・ケアマネ中心に本人を支えるため家族と本人の不安を受け止めて関係作りの配慮している。 ・相談から開始までの期間が短いときは、特に情報共有できるための時間を取り共有に努めている。 ・個別に工夫して対応しうまくいったことは、申し送りを統一して対応することで利用者の心身の向上になっている。 ・利用者様の状況変化はその都度申し送りがありスタッフ間で情報交換し共有できている ・利用者様が慣れていない時は不安にならない様、また他利用者様と円滑な関係が築けるよう仲介している ・送迎時一日の様子を家族に伝えコミュニケーションをとるようにしている。家族からの質問には持ち帰り上司に報告、返事をしている。	
サービス利用時は状況に応じ必要な支援をプラスマイナスしながら支援できている	

・利用する前の情報収集をケアマネが細かく情報を得て支援につなげている。利用者のペースに合わせ通い訪問の頻度など家族の協力を得ながら柔軟に対応している

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・書面だけの申し送りでは不十分な時があり伝達が上手く伝える事ができていない。
- ・基本的なケアは統一して対応しているが ROM 訓練などは実施できないこともある。
- ・遅番、早番の申し送りが出来ていない。
- ・情報共有の時間を設けてはいるが、全員に伝えきれていない場合もある。
- ・訪問手順書が間に合わすことが出来ない。当日の申し送りを十分に伝えきれていない。
- ・利用に関しては、ご本人様よりも家族の意向が強いように感じる。利用者の希望するものとは違うように感じる時もある。
- ・新規利用者開始時、家族との関りは万全とは言えないと思う。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- ・人員不足、ミーティング時に送迎などで参加できず、個人的に情報収集。
- ・人員体制が厳しく、個別ケアに十分な時間が取れていない。
- ・誰に伝達したか、してないのかを明確にされていない為、実施されていないと思っている。
- ・利用者によっては認知症が強く、利用をできていなく入浴拒否、帰宅願望があったり来所拒否がみられ、予定通りいかない時もある。
- ・家族との良い関係をつくるには少し時間がかかる。
- ・利用者、家族との関り方、(コミュニケーション不足もあると思う)

※変則勤務の中でタイムリーに申し送りノート全体を見ることは限界もあり、申し送りが必要な案件に関しては付箋に日付を書き 1 週間わかりやすくする。又、朝の申し送り時 “申し送り参照” とはせず口頭で伝える (記載内容を読む) ようにし、共有して支援に生かす。ワイズマンでの申し送りに移行できるよう検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6. 9. 23	令和
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	大坂・東野・坂本・後藤・吉田・鈴木・出町・中山・岡堀・大澤・松橋	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	7人	0人	14人

前回の改善計画	・言語化できる利用者様には日常的な会話の中から～したいと聞き取り、また利用中や家庭内での役割が持てるような働きかけをご家族とも相談し実施していく。 ・法人内専門職（リハ職）とも連携し、障害を持ちながらも意欲を引き出せる支援を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	この項目は経験年数等で自己評価も2分される傾向が強い。利用者様の＝したい・・・は、今日その日の事ではなく、長い人生の中で（余生）どう生きたいか・・・とする視点が必要。ケアプランを確認しながらも担当者を中心に思いを引き出し（年度初めの抱負などから掘り下げるなどし）てみる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	5	8	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	7	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	6	6	1	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	6	7	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・一部の利用者様には家事作業を進んで手伝って下さってる。 ・毎日のレク活動において各利用者様の得意、不得意の把握が出来ている。 ・言葉を引き出せる方法には日々の関りにてどのようなことを望んでいるのか引き出すよう心掛けている。 ・関わった内容は、ケアマネや担当のリーダーに報告するようにしている。 ・本人様と会話しながら「～したい」と聞き取れて個別対応が出来ている。 ・利用できる事、好みに合わせたレク、軽作業、食器洗いなど行っている。 ・塗り絵や制作活動などに対し、子供みたいと否定的な利用者様に対して、スナプソロジーのとらえ方を伝えながら集中して取り組める働きかけが出来た。出来たことで達成感を感じ取れるよう働きかけている。 ・塗り絵、折り紙、パズル手作業など楽しんで行っている。新聞を読んだり、テレビを好んで観ている。 ・新しく行った事、問題点は職場会議で話し合い次の対応に活かしている。 ・〇〇が出来る事など申し送りノートに記入し引継ぎしている。 ・申し送りに記入だけでなく口頭でも周知している。 ・新規利用者様には不安が無いようコミュニケーションを取れるようにしたり、席の配慮している。 ・利用開始されたばかりの利用者様だと、情報が新しく入ってくるため、なんとなく理解は出来ている。 ・実践した人から直接情報は頂いている。 ・～したい言葉を引き出して午後レクなどに活かすように心がけている。 ・スタッフが個々で関わっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・言語化出来ない方の関りについて家族の方と相談が出来ていない。	

- ・帰宅願望への対応。
- ・過度の認知症の方々の「～したい」という言葉がなかなか聞けない。
- ・家庭内での役割が出来るような働きかけをご家族とも相談し実践する。
- ・法人内専門職（リハ職）との連携。
- ・申し送りノートには記入はしているが、全員が確認したというサインがないことがあるので伝わっているのか、不明なところはある。
- ・利用者同士で会話を楽しみ、軽作業を進んでやってくれるが、一部何もしないで一日を過ごす利用者がいる。
- ・個別対応にて何もしたくない利用者様がいるのに対してどう接していけばいいのかわからない。
- ・個人的に情報収集は出来ているが、全体には伝えられていない。
- ・リハ職はないが、生活動作リハビリなどにてトイレの立ち上がりなど出来る範囲を無くさないように行っている。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・一部時間帯の人員不足により対応困難
- ・家族との関りは、ほとんど送迎の時間となっており、次の送迎や他者が乗車しているため、相談時間が持てない。
- ・～したいと訴えない利用者の関りが少ない。
- ・出勤後すぐ業務にはいってしまう事があるので、見落としがある。
- ・コミュにケーションを取る時間がない。
- ・利用者様のコミュニケーションの工夫が必要。
- ・個別対応に対してのスタッフの数が少ない。
- ・伝えるタイミングを逃している。伝えてるつもりになっている。
- ・PT, OT などのセラピストに相談できる機会がない。

※利用者様の～したい・・・は、今日その日の事ではなく、長い人生の中で（余生）どう生きたいか・・・とする視点が必要。ケアプランを確認しながらも
思いを引き出せるよう、またケアの根拠とするためにもアセスメントシートを活用し担当者を中心にチームで取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6. 9. 23

3. 日常生活の支援

メンバー 大坂・東野・坂本・後藤・吉田・鈴木・出町・中山・岡堀・大澤・松橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	6 人	3 人	0 人	1 人

前回の改善計画	・外部研修を含めたオンライン研修の受講を継続する。 ・日常生活支援の中での変化についてはケアマネ・担当者を中心に情報発信し支援に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新たな課題も共有し個別の生活支援はできている。さらに深めるためには担当者が意識的にコミュニケーションをとるなどして項目 2～したい・・・と合わせて引き出し、チームで支援していく

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	4	3	5	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	6	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	7	2	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8	5	0	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	8	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・認知症もあるため一人で出来ない利用者様に対して、声掛け、介助など行い抵抗なく行うことが出来る。 ・本人様に合わせて毎日申し送りでの状態の共有と、どうすれば良いのかを検討できている。 ・本人様の訴えを聞いたときは共有し対応できている。 ・本人様の体調、状況に合わせた食事提供や支援が出来ている。 ・研修受講している。 ・送迎時に家族と話をすることで家での様子、昔のことなど聞くことが多い。その時は申し送りノートに記入したり職場会議で情報共有をしている。 ・個々に合わせた研修や本人の意向を確認しながらお勧めしている。知識を高めるための研修を情報収集している。 ・日常生活支援においては利用者様ひとりひとりに関心を持ちつつ他利用者様との関係性にも配慮して支援出来ている。 ・外部研修、オンライン研修は参加出来た。 ・スタッフ間で本人の声にならない声を言語化出来ている。観察力があり共有できている。介護においてもその都度状態にあった援助が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	--------------------------------

- ・利用者の暮らし方は理解しているが10個以下である。
- ・10個以上は覚えられない。その中でも大事なと思ったことは覚えている。
- ・個別対応すると他の利用者様の支援が出来ない。
- ・以前の暮らし方をあまり把握していない。
- ・体調の変化時等の即時対応が出来ていない時もあると感じる。
- ・経験不足、判断が遅い。
- ・本人の声にならない声で把握しづらい（言葉にして発信できない人もいる）
- ・オンライン研修の時間がない。自己学習ができていない。
- ・自己学習するための時間を計画的に実施できていない。
- ・担当者からの発信は少ない。
- ・全部が全部共有は出来ない。
- ・以前の暮らし方がなぜ10個以上必要なのか？

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・以前の暮らし方も大事だと思うが現在の暮らしも大事なため現在に重点を置いていた。
 - ・自分のキャパのせい。
 - ・利用者様の個性が強く個別対応が多くなった。
 - ・時間がなくコミュニケーションが取れていない。
 - ・研修が足りない。オンライン研修の指示がなかった。
 - ・人員体制が厳しく受講の時間の確保が困難だった。
 - ・担当者である事がわかりやすいよう新規時や変更時は直接声掛けし、一覧はいつでも見えるところに提示する。
 - ・全部伝えることは困難、発進伝達不足。
 - ・研修の時間帯が業務時間であるため、参加が難しいときがある。
- ※さらに深めるためには担当者が意識的にコミュニケーションをとるなどして項目2～したい・・・と合わせて引き出し、チームで支援していく
- 研修は外部研修も含め回覧し、個人の目標に合わせた内容を中心に受講できるよう職場環境、業務調整をしながら取り組む

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6. 9. 25
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	大坂・東野・坂本・深川・坂本・中山・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	8 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・本人の自宅での（地域での）生活の継続のために支障となってる点を把握し、家族・地域と共に見守る「穏やかなつながり」を大切にしていく。可能な範囲での地域への声掛けと事情所車両への名称貼り付けを検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族の同意が得られる方については近隣に挨拶し気になることがあるときは連絡をいただくよう取り組んでいる。個々の利用者様が暮らすちくの民生委員などは個人情報保護の観点から把握しにくいのが現状で、協働での取り組みまではできない現状もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	4	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	8	4	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5	7	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	3	7	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・送迎時にご本人様の状態などご家族より聞き出し、送りの際にもご本様の状況をお伝えしたり、ご家族との交流、情報交換ができている。 ・利用者様からの会話の中から情報収集している。 ・救急車を要請することもある。 ・配食、とくし丸を利用している。 ・近所の美容院、床屋を利用している。 ・コープなどの共同購入している。 ・町内会に入り、奉仕活動を行ったり、事業所の通信を回覧板で知らせている。 ・診療所を定期的に受診している。 ・家族の了解がある方については、近所の方に挨拶し、「何か気になればお知らせください」と案内している。 ・利用者様宅の近所の嫌がらせを受けたときは、市と連携を取り相談にのってもらえた。 ・本人の普段違う行動や状態のときは、家族、兄弟へ連絡を取り、本人様が不安になるようなときに地域包括支援センターに協力を得たりしている。 ・民生委員、地域資源の把握はケアマネ発信できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員までは理解していなかった。 ・民生委員や地域の資源等の把握が必要。	

- ・理解しているつもりで理解していないかもしれない。
- ・事業所車両への名称貼り付けが検討出来ていない。
- ・地域との連携が少ない。
- ・地域資源を利用している人が少ないと思う。
- ・家族と相談しながら地域と共に見守る。協力体制のつながりが出来ていない。
- ・近所との関係性が把握不足。
- ・利用者の地域での関りや民生委員がわからない。
- ・本人の今の暮らしに必要な地域資源等把握する。
- ・事業所が接していない時間は訪問の数十分の関りしかなくどのように過ごしているかは、家族が知る以外は想像で考えるしかない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・各地域より利用者様にご利用されているため、各地域の民生委員まではわからない。 ・知識不足。 ・利用者様が地域と関わっていないのが現状。 ・家族との接することがあまりないが、事業所を頼り過ぎているのではないかと思う。 ・知る機会が少ない。あっても全て把握しきれない。 ・一部の人しか地域資源等の把握が出来ていない。 ・利用者様の家族、近所の関りが少ないから ・名称貼り付けによるメリット、デメリットについて話合いをしていない為。 ・これまでの実践に加え、法人内支部・班会等の活動に参加しながら、地域の実情と協働できるものを探しながら支援に生かしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6. 9. 25
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	大坂・東野・坂本・深川・坂本・中山・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	9 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画	今後も利用者様、ご家族の状況に合わせた柔軟な支援を継続する。スタッフ全体で変化の状態を共有し、同じ視点で支援できるよう必要時はミーティングで意見交換していく。 支援の証として適切な記録になっているかを見直し改善していく。 ICT の活用の課題を整理し改善していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人、ご家族の状況や要望に合わせ柔軟な支援ができている。ICT については使用方法の確認、メーカーによるメンテナンスを受け、適切に使用できるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	9	3		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8	6	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	9	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8	6	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・変化に気付いていると思う。出来る限りではあるが、柔軟な対応は出来ている。 ・配食の弁当やとくし丸、福祉用具の活用が出来ている。 ・本人、家族に合わせ利用の提供が出来ていると思う。 ・その日、その時の利用者様、家族様の状態に合わせた対応が出来ている。 ・生協受診の方は、情報メールで共有しあっている。 ・利用者の状態の変化があった時、家族に電話で伝え必要時受診することもある。(救急搬送を要請することもある) ・ちょっとした変化も周知共有できている。利用者のその場の状況に合わせ職員同士声を掛け合い同じ視点で支援できるよう情報共有できている。 ・ニーズに合わせてレクやドライブなど個別に対応できている。 ・アームスを利用し、夜間の見守りがより安心に出来ている。 ・通い、泊まりの追加等、その時に応じた対応をし、変化の状態を共有、ミーティングを行っている。 ・看護師不在時、診療所の支援を受けている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・その時休みだったスタッフにはしっかりと伝達は出来ていないと思う。 ・日々の関りの記録、ミーティング等で共有が取れない。 ・地域資源の利用が少ない。 ・適切な記録
---------	--

- ・ ICT の活用の課題を明確にしていない。
- ・ 支援内容をすべて記録に残せていない所もあるのではないかな。
- ・ 適切な記録の仕方を明確化にしていない。
- ・ 支援の証として記録を残しているが、適切であるか不明なところもある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 勤務でどうしてもスタッフが続かない時は、書面のみでの伝達になってしまう為、少し違ったニュアンスで伝わってしまっていることがある。 ・ ICT の活用目的など、自分自身の伝え方が不十分だった。 ・ 今の利用者家族様が対応されていることが多いため、地域資源を活用できる利用者が少ない。 ・ 記録についての書き方の知識や国語力の不足。 ・ 必要な情報収集をするところまで至っていない。 ・ 帰りの送迎後、記入する時間がなく、リーダーの申し送りで終る。 ・ 適切な記録の見本や勉強会があっても良いかも	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6. 9. 25

6. 連携・協働

メンバー 大坂・東野・坂本・深川・坂本・中山・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	9人	1人	0人	14人

前回の改善計画	連携や会議参加の継続。その内容が全体で共有できるようにしていく。(可能な限りケアマネ、担当者が中心となり発信していけるようにしていく)
前回の改善計画に対する取組み結果	人員体制から会議出席は管理者や主任となっている。内容は職場会議で伝達して共有するようにしている。カフェ「介護のかけはし」は利用者、スタッフも交代で参加できたり、事業所内の開催ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	7	2	0	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	5	2	2	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	5	6	1	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	3	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 消防署と連携し、消防訓練を行った。 - サービス担当者会議や運営推進会議など参加して頂いている。職場会議等で内容を周知している。 - 子供たちも畑など手伝って収穫を行っている。 - 町内会に継続している。回覧板での町内の情報を得ている。 - 掲示板で活動を掲示している。 - 担当者会議、必要時開催、(医師会、訪看、CM、福祉用具) - 町内の草取り参加。 - 受診時、他医療機関との連携を図り、情報共有している。 - 近所の方とも挨拶を積極的にかわしている。 - 行事等で職員の子供の参加があり、利用者様が楽しまれた。 - 定期的に会議を行っているので、その内容を職場会議で内容を伝えられている。 - 月一回の事業所の会議に出来るだけ参加している。 - 地域の高齢者による雪かきがあり、挨拶や手作りおやつを差し上げたことがあった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域住民との交流が出来ていない。 - 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加したことがない。 - コロナの影響もあり、挨拶はしているが地域住民との交流はなくなっている - 町内会のイベントに参加していない、把握していない。 - コロナ過もあり町内活動に参加できず、地域参加型の避難訓練が出来ていない。別な方法も検討することができなかった。	

- ・参加する機会がない
- ・運営推進会議に他スタッフを参加して頂くことが出来ていない。
- ・虹の箱が活用できていない。
- ・登録者以外の地域住民が訪れることはない。
- ・昨年度までは地域開催が出来なかった。(参加するイベントがなかった)

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域イベントが少なかった。 ・アピール不足、地域の人たちが関心がない。 ・コロナの影響 ・運営推進会議の参加について、人員確保できなかった。 ・コロナ、インフルエンザ等の感染症の不安があり、外部での接触に不安が多い。 ・運営推進会議日には人員確保し、交代で参加できる体制をとり連携や協働について深められるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6. 9. 30

7. 運営

メンバー 大坂・坂本・出町・鈴木・大澤・坂本（富）・中山・岡堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	6 人	2 人	0 人	14 人

8

前回の改善計画	・状況変化時の共有と支援の方向性、手順を明確化する。 ・実践を BCP の見直しに活かし、途切れない支援を実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族と事業所の協働で在宅生活が継続されていることを再認識し、サービスの内容・頻度など適宜すり合わせながら、在宅生活が継続されるよう支援していく。また、小規模に移行した時点で認知症の周辺症状の悪化から終了（入院）となるケースもあり、地域での啓蒙活動や家族支援が重要と感じている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	5	5	4	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	5	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	5	4	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	4	5	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意見、苦情に対しては、即時対応を心掛けて実践している。朝会、会議、申し送りノートを活用して確認したり、意見交換し取り組んでいる。 ・町内の草刈り、ゴミ拾いなどに参加して地域の取り組みに参加している。 ・利用者様の話を聞き、普段のレクなどに取り入れている。（簡単で取り入れやすいものであれば、リクエストに応えている） ・これから認知症カフェを実施する予定。 ・運営推進会議開催時、事業所の取り組み活動、様子報告（民生委員も参加している） ・機関紙の配達をして組合員とつながってる。 ・BCP（感染）経験を活かして見直しを行っている。 ・地域の公園掃除等に腕章を作って参加した。 ・家族からの意見は申し送りノートで情報共有できている。 ・各状況についてのマニュアルのファイルがあり、状況に合わせて確認できる。 ・町内会に加入しており、回覧により町内の状況がわかる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との協働した取り組みが少ない。 ・虹の箱に意見が入らない。 ・地域からの意見や苦情を聞き出すこと。 ・手順を明確化し、見える化にしていることが弱く、周知徹底がされていない。 ・	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
---------------	-----------

- ・町内のごみ拾いなどに参加しているけど、協働の取り組みが出来ていない。
- ・認知症カフェを予定しているので、行事、畑の収穫時に認知症カフェを行ったらどうか？
- ・コロナが落ち着いていない為参加が難しい。
- ・地域との交流する機会がない。
- ・手順を明確化、BCP の見える化も作成する時間をつくることが出来ない。
- ・地域住民がニーズを感じていないのでは？
- ・本人・ご家族の状況に合わせた柔軟な支援、地域やご家族への啓蒙活動を実践し、在宅生活が継続できることで、安定的な運営を目指します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6. 9. 30

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大坂・坂本・出町・鈴木・大澤・坂本（富）・中山・岡堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	6人	1人	0人	14人

前回の改善計画	・係活動や職場全体の業務を見える化し、年間計画を明確化する。 ・研修機会の確保（月内定期的な時間の確保） ・日常的な事故報告内容について対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人内研修で運営上必要な研修受講ができた。個々のスキルアップのための時間確保は十分ではなかったが、オンライン研修等の伝達研修も実施できた。職場内事故報告内容についても検討し、再発防止に取り組めた。接遇面では振り返りが必要な場面もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	7	4	3	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	6	1	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	4	4	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	4	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事故対応など報告、改善など行うことは出来ている。 ・係活動は、皆で協力しあって出来ている。 ・法人学習会に参加している。 ・ヒヤリハット事故などの検討会を行い対策を考えている。 ・職場会議の学習会、法人学習会オンライン研修など参加し、スタッフ間で伝達している。 ・事故やヒヤリがあった時は、分析して対応を考えて実施している。セフティ委員会に提出、次月予定通り実施しているか確認している。 ・町内会に入って回覧板が回ってきている。 ・運営推進会議に町内の民生委員が参加している。 ・役割分担の年間計画は実施している。より一層それぞれの役割を明確にして実施できるようにしている。 ・必要な研修を個々に合わせて計画を立てている。 ・係の業務を明確にして引き継ぎして実施している。 ・係活動など見える化にし、それぞれの係活動をしている。 ・職場会議での勉強会に参加し感想文を提出している。 ・ヒヤリハットや事故報告書の内容がすぐに分かるよう掲示され、内容について検討している。 ・事故報告の対策、検討を行い、業務改善に釣り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修に参加できていない。 ・スキルアップしたいと思うだけで行動できていない。 ・感染防止対策に意識の温度差があり、リスクマネジメントが出来ていない。 ・地域連絡会の機会が少ない。参加できていない。	

- ・見える化を随時更新していきたい。
- ・地域連絡会に参加していない。
- ・リスクマネジメントには取り組んでいるが決めた対策を実施していない為に同じようなヒヤリ、事故が再発している。
- ・人員が少なく個人のスキルアップまでの研修時間の確保が出来ていない。
- ・適切、不適切なケアを日常業務の中で振り返りの取り組みが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・研修の参加する方法が分からない。プライベートでも院外の研修に参加してよいのか分からない。 ・地域連絡会の参加する機会を作してほしい。 ・スタッフ全員が出来るように対策を立ててない？一人一人意識不足もあると思う。 ・回覧板で町内の活動等は確認できるがなかなか参加できないでいる。 ・接遇など何度も振り返り学習ができていない為 ・人員が少なく時間が確保できない。 ・勤務調整で、研修受講を確実にできるような仕組みとし、伝達研修も継続する。 - 接遇に関しても定期的な振り返りができるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6. 9. 30
-----	-----------

9. 人権・プライバシー

メンバー	大坂・坂本・出町・鈴木・大澤・坂本（富）・中山・岡堀
------	----------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	6人	0人	0人	1人

前回の改善計画	接遇・虐待・身体拘束・プライバシー保護に関しては毎月の会議で振り返りしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	排泄や利用者様の不意な行動に対しスピーチロックが発生する場面が見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	11	2	0	0	14
③	プライバシーが守られている	8	4	2	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	3	4	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	6	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者の個々の振り返りの中で気になるところは会議で話し合われている。 ・虐待とされるようなこと「暴言、暴力」は100%していない。いつでも寄り添って利用者の立場になっていろいろ考えながらケアをしている。 ・身体拘束（センサーマット等）対応を毎月見直している。 ・職場会議での学習会あがり、振り返りが出来る。 ・虐待はない。身体拘束はない（ベットの柵を多使用するときは家族の了解を得ている） ・毎年、虐待、身体拘束、成年後見人の学習会は行っている。 ・トイレでの排泄時カーテンを閉めている。オムツと交換時は居室のドアを閉めている。 ・個人情報は守っている。 ・カルテは書庫に入れて施錠している。 ・身体拘束や虐待の学習会や研修で理解し努めている。 ・年間の学習計画に組み込み法人学習会に参加している。 ・接遇や虐待について、時に修正が必要な場面を見ることがあるがおおむね実践できている。 ・身体拘束、プライバシー保護等会議で話し合って実施している。 ・接遇、虐待、身体拘束はしていない。プライバシー保護の為、下駄箱のネームが見えないようにカーテンを使用し開けっ放しにはしない様努めている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・耳の遠い利用者様にはどうしても大きな声で「うんち、便」と言ってしまう。周りに聞かれているなど
---------	--

胸が痛むがどうしても大声になってしまう。その場で受け答えをしてしまうから。今後、場所を変えて声掛けします。

- ・職員一人一人もその日の体調の変化等もあるが、プロとしての業務である事を時々振り返るのが必要。
- ・スピーチロックの改善
- ・毎月の職場会議の中では身体拘束しか振り返りしか出来ない。
- ・排泄状況を他利用者様の前で話してしまいプライバシーが欠けていた。
- ・不適切ケアに対する学習
- ・排泄状況、申し送り等、ホールスタッフ間とのやりとりでプライバシーに欠けるところがある。
- ・成年後見人制度は現在使われている方はいないが、必要とされる利用者様には勧めている。
- ・きちんとできているので継続していきたい。
- ・他利用者の中で他者のことを話すことがあった。
- ・利用者様の中に成年後見制度を活用している方はいない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・日頃の意識が薄くなってしまった。 ・不適切ケアに対する学習の機会が少ない。 ・排泄状況利用者様から離れると危険なので口頭で言う時もある。 ・職場会議の内容が多く、時間がない。 ・お互い、注意しあえるようになれば良いと感じる。 ・難聴があったとはいえ配慮が不足していた。 ・人員不足になると、スピーチロックが増えてしまう。 ・利用者様の安全・安心が第一であり、人権を尊重した声掛けと支援の実践、スピーチロックに関してはお互いに注意しあえる職場としていく。	